



詫間町民俗資料館に行ってきました！ 3年

10月28日（木）、3年生は、詫間町民俗資料館に校外学習に行ってきました。

まず始めに炭に火を付ける体験に挑戦しました。火吹き竹やうちわを使って、種火から炭に火を付けようとしたのですが、煙にまかれて涙ぐむ場面も見られました。しかし、どのグループも何とか炭に火を付けることに成功しました。その後、その炭火で大豆を煎ったり、その大豆を臼でひいてきなこを作ったりもしました。また、わら縄をなったり、洗濯板を使って洗濯をしたりしました。担い棒を使っての水運び体験では、重くてふらふらする姿も見られました。

昔の道具を使う体験を通して、昔の人々の知恵や苦勞を学ぶことができました。詫間町民俗資料館の先生方、ありがとうございました。



＜3年生14人と藤賀先生、渋谷先生で力を合わせて、約5.5mの縄をないました＞

授業風景 4年「面積 ～体で感じる～」

28日（木）、各教室を回っていると4年生の教室から楽しそうな声が聞こえてきました。何をしているのかとのぞいてみると、新聞紙の上に5人の4年生が乗っていました。足下の新聞紙を見ると、何枚かの新聞紙を貼り合わせて、 1m^2 にしていました。次に半分にして先生の「面積は？」の発問に、4年生の「 5000cm^2 ！」と元気よく答えていました。そして、また5人で新聞紙の上に乗っていきます。だんだんと狭くなっていくので落ちないように乗るのが大変です。どの班も協力しながら取り組んでいました。そして楽しくゲームをしながら、体で 1m^2 を感じていました。授業後の4年教室には、写真のように新聞紙を使って 1cm^2 から 9m^2 （ $90,000\text{cm}^2$ ）が、実物大で広げられていました。



面積や体積はその量感をつかむことが大切ですが、数値で表された面積と実際の大きさを関係づけることは大変難しいことです。量感が分からず6年生になっても単位の換算が苦手な人はたくさんいます。この授業のように新聞紙を使って単位面積 1m^2 を体で味わうことにより、面積についての理解が深まると考えられます。

ちなみに、教室にこれだけの面積の新聞紙を開くことができるのは、三豊市内の小学校では本校だけでしょう。教室の長所を生かした取り組みです。

